

戸塚共立メディカル
サテライト健診センター

「大腸がんは早期発見が大切」

大腸内視鏡検査がスタート

国立がん研究センターの発表によると、2017年のがん罹患患者数予測の第1位は「大腸がん」となっている。「食生活の変化などにより罹患者は急増しており、特に40歳以上は確率も高くなる。一方で、早期発見により完治できる可能性が高い

がんです」と話すのは、戸塚共立メディカルサテライト(戸塚町)の大谷節哉医師だ。

「安楽な検査を」

前日に指定の洗腸液を飲んで備え、当日はお腹が張らないガスや体の緊張を和らげる鎮静剤を使用。検査は15分から30分程度で終わる。

同院では大腸がんの早期発見をめざし、このほど「大腸内視鏡検査」をスタートした。検便では発見しにくいポリープや早期のがんが発見される

万が一大きなポリープ等が見つかった場合は同じ法人内の戸塚共立第1病院と連携し、外科手術などの治療を行うなどバ



大谷 節哉 内視鏡センター長

日本消化器内視鏡学会専門医・指導医。安楽でより確実な検査はもちろん、食事とがんの関係についても研究し、総合的な視点でがん対策にあたる。

ックアップ体制も充実している。「受けづらい気持ちがあると思いますが、より安楽な検査のため検査技術の向上に努めます」と話す。

大谷医師はまた、食生活改善の大切さも訴える。「バランスの悪い食事や肥満は、がん発症との関連が強いとされています。食事指導による1次予防、健診による2次予防、治療による3次予防まで総合的にサポートしていきたい」と話した。

予約・問合せは左記へ。

■戸塚共立メディカルサテライト健診センター

【住所】戸塚町3970の5
☎0120・733・153